



さわやか No. 25



幸手市立さくら小学校体育だより
令和3年 11月27日 25号

さわやかだより第25号では11月5日(金)に行われた「幸手市体力向上に関する研究」発表の様子を紹介します。

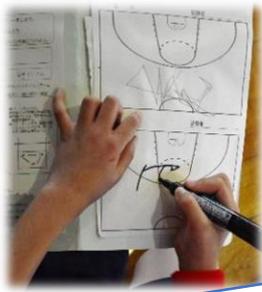
＜研修主題＞

『生き生きと学び、主体的に取り組む児童の育成』

～一人一人が自己の体力の伸びを実感できる実践を通して～



幸手市体力向上に関する研究発表会 11月5日(金) 第5校時
授業者 5年1組担任 松永 愛
「ハーフバスケットボール」(ボール運動・ゴール型)



【こっこつタイム】毎時間、試合で勝つために必要な基本の技(パスやシュートなど)の練習に取り組む時間を設定しています。ボールに触っていない時は兄弟チームがどんな風に動いているのか動線を記録したり、アドバイスをしたりしています。2分間のシュートタイムでは記録をグラフ化し、最高記録を目指せるようにしました。

フリースペースを生かしてシュートにつなげるには・・・



【シェアタイム→ぐんぐんタイム】チームの作戦を同盟チームと共有し、良い動きを紹介したり、後半のゲームの動きにつなげたりしました。作戦を生かした動きがありました。

【振り返り】できるようになったことや、さらに伸ばしたい力についてタブレットに記入し、互いに読み合います。

本時は「フリースペースを生かしてシュートにつなげる動きをしよう」の課題を達成するために、どんな動きが必要か作戦を立てて試合をしました。前時に守りの仕方を学習してマークが厳しくなったため、フリースペースが作れず前半戦は悩む様子が見られました。シェアタイムを通して、どう動けばシュートにつながるパスをもらえるかに気付き、後半戦では多くのチームが高得点を取ることができました。また、単元を通して技能が向上し、作戦を立てる力もつきました。子供たち自身が伸びを実感することで、「バスケが好きになりました。」と好意的な意見が多くあがりました。

